

会員報告

全国頸髄損傷者連絡会全国総会・大阪大会

橋 祐貴

5月5日～6日、大阪・上本町のホテルアヴィーナ大阪にて全国頸髄損傷者連絡会全国総会・大阪大会が開催されました。私も今回は開催地が大阪と近かったので、昨年に続き2日間とも参加しました。今回は私にとって初めての電動車椅子での宿泊を伴う外出にもなりました。

昨年未から電動車椅子を使用し始め、初めての電車利用が4月の支部総会でした。ところが想像していたよりも電車の乗り降りに気を遣い、「全国総会は電動で行けるだろうか？」と不安になりました。とにかく電車の乗り降りに慣れるため、何度か電車利用の経験を積んでから当日を迎えました。連休中で混雑が心配でしたが、思ったよりも混雑していなくて一安心。最寄駅の上本町駅までは順調にきましたが、昼食の調達に時間がかかり、会場に着いたのはシンポジウム開始数分後になってしまいました。

今回のシンポジウムは「頸損者が人生を回復してきた道のり」をテーマに、受傷後どのように人生をリカバリーしたのか各パネリストの発表がありました。第1部では「人工呼吸器利用者からのメッセージ」というテーマで大阪の柏岡さんが発表しました。また、第2部では「さまざまな頸髄損傷者からの発信」というテーマでパネリストの方々が発表し、兵庫からも米田さんが発表しました。私も受傷してから人生ががらりと変わり、現状を受け入れるまでかなりの時間がかかりました。今から思えば頸損連にももっと早くに入ればよかったと思いますが、入会に踏み切るまでに何年も時間がかかりました。今はインターネット等ですぐに情報が手に入りますが、当事者間の情報がやはり一番参考になります。会場では久しぶりに会う知人もいて、お互いの近況を報告しました。

シンポジウム終了後、ホテルの部屋で少し休憩して交流レセプションの会場へ。交流会ではハーモニカ演奏による歌と「なにわのk-1グランプリ」なる仮装コンテストが行われ、大いに盛り上

がりました。レセプション終了後、客室に戻りボランティアの方にベッド移乗を手伝ってもらい1日目が終わりました。

2日目は午前全国総会が行われました。電動車いすに移乗したものの、昨日の疲れからか腕の緊張が強くてなかなかコントローラーの位置が合わず難儀しました。総会では会の活性化を図るため、新しい本部役員の人事案が提案され了承されました。新しい会長、事務局長ともに40代と若く、今まで以上に頸損連の活動を盛り上げてくれると思います。総会終了後はオプション企画には参加せず家路につきました。帰宅中もコントローラーの位置が悪く、車いすの操作が大変で帰宅したらすぐに横になりました。

今回の全国総会は家から近い大阪での開催でしたが、電動車いすでの初めての遠出でドキドキの2日間でした。電動車いすの乗車時間が今まで一番長く、その影響からか2日目は身体の緊張が強くなり車いすの操作に苦労しました。全国総会までにもっと長い時間電動車いすに乗っていて操作に慣れていれば、疲れた時の対処法などが分かっていたのかもしれない。それでも無事に2日間を過ごせたので、少しは電動車いすでの外出に自信がついてきたのかなと思います。これからもっと行動範囲が広がるように電動車いすの練習をしていきたいと思います。



シンポジウムの様子